

1 学校の重点目標

○ 基礎・基本を身に付け、活用できる力を育成する指導の工夫
○ 生徒指導を中心とした、落ち着いた学習環境作りの工夫
○ 継続的な運動の機会を確保するための一校一運動の充実

2 課題と改善策

(4段階評価)

	評価項目	評価	改善策
重点項目	1 子どもたちが考え学び合う授業の工夫に努める。	3.0	・学習形態を工夫し、子供たちが他者との考えの比較や意見の交流等の協働的な学習に努める。 ・「あ・ハ・は」運動と併せて、廊下歩行等を全職員で指導する。
	2 「あ・ハ・は」運動を徹底し、学習環境作りに努める。	2.9	
	3 縄跳び運動を始めとした運動の機会設定に努める。	2.9	
	基本的な生活習慣と確かな基礎学力の育成	平均	改善策
学力向上	1 基本的な学習習慣を身に付けさせる。	2.9	・ICTの効果的な活用法について研究・実践しながら、基礎基本の定着を図るように工夫する。 ・読解力向上を図るために、本に親しませる手立てを工夫したり、文章問題に触れさせる機会を増やすようにする。 ・非認知能力の向上を意識しながら教育活動に取り組む。
	2 個に応じた指導の充実に努め、基礎的基本的な知識・技能を習得させる。	3.0	
	3 学習意欲を高める授業、指導方法の改善・充実に努める。	3.1	
	4 家庭学習の充実に努める。	3.1	
	5 読書指導の充実に努める。	2.8	
	6 特別支援教育の充実に努める。	3.1	
	思いやり・たくましい・やり抜く心、健康づくり	平均	改善策
生徒指導	1 全校指導態勢で、生徒指導の充実に努める。	3.0	・「あ・ハ・は」運動の習慣化を目指して、委員会活動と連携して学校全体で取り組む。 ・お互いの良さを認め合う環境づくりに努める。
	2 「心の居場所」のある学級経営に努める。	3.3	
	3 基本的な生活習慣を身につけさせるために、家庭との連携に努める。	3.1	
	4 「心の教育」や人権教育の推進に努める。	3.0	
保健指導	1 保健指導の充実に努める。	3.0	・研修テーマと関連させて、安全な学校生活、けがの予防に学校全体で取り組む。 ・「チャレンジかごしま」に取り組みせ、楽しく運動する習慣の育成に努める。
	2 安全指導の充実に努める。	3.0	
	3 給食指導の充実に努める。	2.8	
	4 体力の向上に努める。	2.9	
	開かれた学校、教育環境づくり	平均	改善策
地域連携	1 地域人材等の積極的活用、体験活動の充実に努める。	2.6	・土曜授業日を中心に人材を活用した体験活動を実施することができたので、次年度も継続していく。 ・学校運営協議会と連携して、子供の健全育成に向けて、地域の声に耳を傾けながら、学校と地域が一緒に取り組む体制づくりに努める。
	2 地域や家庭との連携、積極的な情報発信に努める。	2.9	

3 次年度に向けての取組

- GIGA スクール構想の実現に向けて、ICTの効果的な活用方法についての研究・実践を継続して進めていく。
- 研修の在り方について共通理解を図り、一人一人が意欲的に研修に取り組む体制づくりに努める。
- 不登校児童へ組織的にかかわれるように校内体制を確立する。
- 業務改善を図るために、定時退庁日を確実に設定するとともに、PDCAサイクルを意識した学校評価や衛生委員会に取り組み、ボトムアップを積極的に取り入れ一人一人の意識化を図る。